

詳細情報1

品名	豚パスツレラトキソイド“化血研”
一般名称	パスツレラ・ムルトシダトキソイド
業者等名称	財団法人 化学及血清療法研究所
製造元	
承認日	平成07年07月07日
承認区分	製造医薬品
有効成分	1 ワクチン 1バイアル (10ml)中
	2 パスツレラ・ムルトシダ皮膚壊死毒素 8,500モルモット単位以上
	3 ホルマリン 0.04ml以下
	4 水酸化アルミニウムゲル 14mg以下
	5 リン酸緩衝食塩液 残量
	6
対象動物	豚
剤型	(動生剤)液状 不活化
規制区分	指定医薬品, 劇薬, 要指示医薬品
効能効果	毒素産生パスツレラ・ムルトシダの感染によって起こる豚の萎縮性鼻炎の予防。
用法用量	妊娠豚には2mlを、分娩前6~5週及び2週間前後の2回筋肉内に注射します。 子豚(1カ月齢以上)には1mlを2回、3~4週間の間隔で筋肉内に注射します。 —使用上の注意— 本製剤は、ボルデテラ・プロンキセプチカによって起こる豚の萎縮性鼻炎に対する予防には適しません。
休薬期間	
有効期間	24カ月
貯蔵方法	2~5°の暗所に保存する
包装単位	10mlバイアル
備考	

Home

7742

詳細情報1

品名	豚Hpn3価ワクチン「北研」
一般名称	豚アクチノバシラス(ヘモフィルス)・プルロニューモニエ(1・2・5型)感染症不活化ワクチン
業者等名称	社団法人 北里研究所
製造元	
承認日	平成05年08月03日
承認区分	製造医薬品
有効成分	1 1バイアル(20mL)中
	2 アクチノバシラス(ヘモフィルス)・プルロニューモニエ血清型1・1H-7株不活化菌 約2×10 ¹¹ 個
	3 アクチノバシラス(ヘモフィルス)・プルロニューモニエ血清型2・SH-15株不活化菌 約2×10 ¹¹ 個
	4 アクチノバシラス(ヘモフィルス)・プルロニューモニエ血清型5・KN-1株不活化菌 約2×10 ¹¹ 個
	5 不活化剤 ホルマリン(日局) 2μL以下
	6 防腐剤 チメロサール 2mg
対象動物	豚
剤型	(動生剤)液状 不活化
規制区分	劇薬, 要指示医薬品, 指定医薬品
効能効果	豚のアクチノバシラス(ヘモフィルス)・プルロニューモニエ血清型1、血清型2ならびに血清型5感染症の予防
用法用量	約5週齢の豚に2mLを筋肉内注射し、さらに4週間後、2mLを筋肉内注射する。
休薬期間	
有効期間	2年
貯蔵方法	遮光して2～5℃に保存
包装単位	1バイアル又はプラスチック容器 50mL、250mL
備考	【成分及び分量】(つづき) 1バイアル(20mL)中
	アジュバント 水酸化アルミニウムゲル(アルミニウム量として 約14mg 希釈用液 リン酸緩衝食塩液 残量

Home

7242

詳細情報1**品名** アイボメック プレミックス 0.6%**一般名称****業者等名称** メリアル・ジャパン株式会社**製造元****承認日** 平成07年12月19日**承認区分** 輸入医薬品**有効成分** 1 イベルメクチン

0.6g/100g

2

3

4

5

6

対象動物 豚**剤型** 粒・散剤(準散剤・顆粒剤を含む)**規制区分** 使用基準が定められた医薬品**効能効果** 豚の下記の内部寄生虫及び外部寄生虫の駆除豚: 内部寄生虫-豚回虫、豚腸結節虫及び豚糞線虫
外部寄生虫-疥癬ダニ(穿孔ヒゼンダニ)、フタジラミ**用法用量** 通常、1日体重1kg当たりイベルメクチンとして100 μ gを7日間飼料に均一に混じて投与する。**休薬期間** 本剤は薬事法第83条の2の規定に基づき上記の用法及び用量を含めて使用者が遵守すべき基準が定められた医薬品ですので、使用対象動物(豚)について上記の用法及び用量並びに次の使用禁止期間を遵守して下さい。

豚: 食用に供するために、と殺する前7日間

有効期間**貯蔵方法****包装単位** 200g~25kg**備考****Home**

馬区虫剤

詳細情報 1

品名	アイボメック トピカル
一般名称	
業者等名称	メリアル・ジャパン株式会社
製造元	
承認日	平成08年02月16日
承認区分	輸入医薬品
有効成分	1 イベルメクチン
	5.0mg/mL
	2
	3
	4
	5
6	
対象動物	牛(搾乳牛を除く)
剤型	液剤(乳剤・油剤・チンキ剤を含む)
規制区分	使用基準が定められた医薬品
効能効果	<p>牛(搾乳牛及び分娩予定日前28日間の乳用牛を除く)の下記の内部寄生虫及び外部寄生虫の駆除。</p> <p>内部寄生虫 - オステルターグ胃虫、牛腸結節虫、クーペリア、毛様線虫、乳頭糞線虫及び牛肺虫</p> <p>外部寄生虫 - 疥癬ダニ(食皮ヒゼンダニ)、シラミ及びノサシバエ</p> <p>牛(搾乳牛及び分娩予定日前28日間の乳用牛を除く)のマダニによる吸血の抑制。</p>
用法用量	体重1kg当たりイベルメクチンとして500 μ g(本剤として0.1ml)を1回、牛(搾乳牛及び分娩予定日前28日間の乳用牛を除く)の背線部のき甲から尾根にかけて直線的に注ぐ。
休薬期間	<p>注意：本剤は薬事法第83条の2の規定に基づき上記の用法及び用量を含めて使用者が遵守すべき基準が定められた医薬品ですので、使用対象動物[牛(搾乳牛を除く。)]について上記の用法及び用量並びに次の使用禁止期間を遵守して下さい。</p> <p>牛(搾乳牛を除く。):食用に供するために、と殺する前37日間</p>
有効期間	
貯蔵方法	気密遮光保存
包装単位	高密度ポリエチレン容器・紙箱包装(250mL、1L、2.5L)
備考	

Home

馬区虫育り

詳細情報1	
品名	メイポール50
一般名称	
業者等名称	明治製菓株式会社
製造元	
承認日	平成02年10月19日
承認区分	製造医薬品
有効成分	1 フェンベンダゾール
	50g/kg
	2
	3
	4
	5
6	
対象動物	豚
剤型	粒・散剤(準散剤・顆粒剤を含む)
規制区分	
効能効果	豚: 豚回虫、豚腸結節虫、豚鞭虫の駆除
用法用量	通常、豚回虫、豚腸結節虫の駆除には体重1kg当たりフェンベンダゾールとして3mgを3日間経口投与し、豚鞭虫の駆除には飼料1t当たりフェンベンダゾールとして10~15gを均一に混合して3~4週間経口投与する。
休薬期間	本剤投与後、下記の期間は食用に供するために出荷等をおこなわないこと。 豚: 7日
有効期間	
貯蔵方法	
包装単位	5~20kg(ホリエチレン内装クラフト3層紙袋入り)
備考	

Home

馬区虫剤

詳細情報1

品名	リペルコールL
一般名称	
業者等名称	有恒薬品工業株式会社
製造元	
承認日	昭和51年09月30日
承認区分	製造医薬品
有効成分	1 塩酸レバミゾール
	10.0g/100g
	2
	3
	4
	5
6	
対象動物	牛, 豚, 鶏
剤型	粒・散剤(準散剤・顆粒剤を含む)
規制区分	
効能効果	牛:牛肺虫、クーベリア、オステルターグ胃虫、沖縄糸状虫の駆除 豚:豚肺虫、豚回虫、豚腸結節虫、豚糞線虫の駆除 鶏:鶏回虫、鶏毛細線虫、鶏盲腸虫の駆除
用法用量	体重1Kg当たり下記の量を1回、飲水に溶解、飼料に添加または練り餌状にして経口投与する。 その後再感染があった場合は、その都度同様の用法および用量で投与する。 牛(搾乳牛を除く.): 75mg(塩酸レバミゾールとして7.5mg) 豚: 50mg(塩酸レバミゾールとして5mg) 鶏(産卵鶏を除く.): 200~300mg(塩酸レバミゾールとして20~30mg)
休薬期間	本剤投与後、下記の期間は食用に供する目的で出荷等を行わないこと。 牛: 7日 豚: 5日 鶏: 5日
有効期間	
貯蔵方法	密閉容器
包装単位	20~500g: アルミラミネート袋
備考	承継元 日本レダリー

Home

駆虫剤

詳細情報1

品名	フルモキサール散5%		
一般名称	フルベンダゾール		
業者等名称	セラケム株式会社		
製造元			
承認日	昭和60年02月05日		
承認区分	製造医薬品		
有効成分	1	フルベンダゾール	
		5g/100g	
	2	酸化チタン	
		2g/100g	
	3	ラウリル硫酸ナトリウム	
		1g/100g	
	4	乳糖	
		適量	
	5		
	6		
対象動物	牛、馬、豚		
剤型	粒・散剤(準散剤・顆粒剤を含む)		
規制区分	使用基準が定められた医薬品		
効能効果	馬:大円虫、小円虫、馬回虫の駆除		
	牛:オステルターグ胃虫、牛肺虫の駆除 豚:豚回虫、豚鞭虫、豚腸結節虫、ランソン糞線虫、豚肺虫の駆除		
用法用量	(経口投与)		
	通常1日1回体重1kg当たり、フルベンダゾールとして下記の量を強制的に経口投与するか、又は飲水に懸濁し、若しくは飼料に均一に混じて経口投与する。		
	馬:大円虫、小円虫、馬回虫	10mg	2~3日間連日
	牛:オステルターグ胃虫	10~20mg	5日間連日
	牛肺虫	20mg	
	豚:豚回虫、豚鞭虫、豚腸結節虫、ランソン糞線虫、豚肺虫	5~10mg	
	(飼料添加)		
	通常飼料1t当たり、フルベンダゾールとして下記の量を均一に混じて3~5日間経口投与する。		
	豚	25~30g	
	●投薬量早見表[単位:製剤量(g)]		
(経口投与:馬、牛、豚)			
体重(kg)	フルモキサール散5%		
	5mg/kg*	10mg/kg	20mg/kg
10	1	2	4
20	2	4	8
30	3	6	12
40	4	8	16
50	5	10	20
100	10	20	40
200	20	40	80

駆虫剤

300	30	60	120
400	40	80	160
500	50	100	200
600	60	120	240

(飼料添加:豚)

飼料	25ppm**	30ppm
飼料1t当たり	500	600
飼料20kg当たり	10	12
飼料1kg当たり	0.5	0.6

* :フルベンタゾール量(mg)÷体重(kg)
 ** :飼料中のフルベンタゾール濃度(ppm)

注 : 投与薬剂量が少ない場合は飼料等で均一になるように希釈して投与ください。

休薬期間	馬 : 食用に供するためにと殺する前 3日間
	牛 : 食用に供するためにと殺する前10日間
	豚 : 食用に供するためにと殺する前14日間
有効期間	5年
貯蔵方法	室温保存
包装単位	1kg(20g×50分包) 5kg(500g×10分包)
備考	

Home

詳細情報1	
品名	アイブロシンプレミックス10
一般名称	酒石酸酢酸イソ吉草酸タイロシン準散
業者等名称	武田薬品工業株式会社
製造元	
承認日	平成02年02月23日
承認区分	製造医薬品
有効成分	1 酒石酸酢酸イソ吉草酸タイロシン
	2
	3
	4
	5
	6
対象動物	豚, 鶏(産卵鶏を除く)
剤型	粒・散剤(準散剤・顆粒剤を含む)
規制区分	要指示医薬品, 使用基準が定められた医薬品, 指定医薬品
効能効果	有効菌種 マイコプラズマ 適応症 豚:流行性肺炎 鶏:呼吸器性マイコプラズマ病
用法用量	
休薬期間	豚:3日 鶏:5日
有効期間	3年
貯蔵方法	動物用抗生物質飼料添加剤基準による
包装単位	
備考	

Home

詳細情報1	
品名	タイロシン「デンカ」P20
一般名称	リン酸タイロシン準散
業者等名称	デンカ製薬株式会社
製造元	
承認日	昭和63年07月07日
承認区分	製造医薬品
有効成分	1 リン酸タイロシン
	20g(力価)/kg
	2
	3
	4
	5
6	
対象動物	豚, 鶏(産卵鶏を除く)
剤型	粒・散剤(準散剤・顆粒剤を含む)
規制区分	要指示医薬品, 使用基準が定められた医薬品, 指定医薬品
効能効果	【有効菌種】 キャンピロバクター、マイコプラズマ 本剤感性の次の菌種: ブドウ球菌、レンサ球菌
	【適応症】 豚: 肺炎、細菌性下痢症 鶏: 呼吸器性マイコプラズマ病
用法用量	通常飼料1t当たり、下記の量を均一に混じて経口投与する。 ●豚 タイロシンとして 44~110g(力価) 本剤として 2.2~5.5kg 本剤の飼料に対する添加率 0.22~0.55% ●鶏(産卵鶏を除く) タイロシンとして 330~550g(力価) 本剤として 16.5~27.5kg 本剤の飼料に対する添加率 1.65~2.75%
休薬期間	3日間
有効期間	製造の翌月から24カ月
貯蔵方法	気密容器、室温保存
包装単位	20kg
備考	

詳細情報1	
品名	カルバドックス・10
一般名称	
業者等名称	デンカ製薬株式会社
製造元	
承認日	昭和61年07月04日
承認区分	製造医薬品
有効成分	1 カルバドックス
	10g/1kg
	2
	3
	4
	5
6	
対象動物	豚
剤型	粒・散剤(準散剤・顆粒剤を含む)
規制区分	要指示医薬品, 使用基準が定められた医薬品, 指定医薬品
効能効果	適応症、豚: 子豚の豚赤痢
用法用量	<p>通常飼料1t当たり、カルバドックスとして下記の量を均一に混じて経口投与する。</p> <p>豚(4カ月齢を超える豚を除く): 20~50g</p> <p>●飼料1t当たりの添加量</p> <p>カルバドックスとして : 20~50g</p> <p>本剤として : 2~5kg</p> <p>本剤の飼料に対する添加率 : 0.2~0.5%</p>
休薬期間	<p>使用禁止期間</p> <p>豚(生後4月を超えるものを除く.): 食用に供するためにと殺する前30日間</p>
有効期間	製造の翌月から3年
貯蔵方法	しゃ光した密閉容器
包装単位	20kg
備考	

Home

詳細情報1

品名	メイリッチPS
一般名称	硫酸ストレプトマイシン・ベンジルペニシリンプロカイン準散
業者等名称	株式会社 科学飼料研究所
製造元	
承認日	平成08年05月07日
承認区分	製造医薬品
有効成分	1 粗硫酸ストレプトマイシン(硫酸ストレプトマイシン)
	2 ベンジルペニシリンプロカイン
	3
	4
	5
	6
対象動物	豚, 鶏(産卵鶏を除く)
剤型	粒・散剤(準散剤・顆粒剤を含む)
規制区分	指定医薬品, 要指示医薬品, 使用基準が定められた医薬品
効能効果	豚:細菌性下痢症 鶏:ブドウ球菌症
用法用量	通常飼料1t当たり、本剤として下記の量を均一に混じて2~5日間経口投与する。 豚:1~6kg 鶏(産卵鶏を除く.):3~9kg
休薬期間	本剤は産卵鶏(食用に供するために出荷する卵を産卵している鶏をいう)には使用しないこと。
有効期間	2年
貯蔵方法	
包装単位	
備考	

[Home](#)

詳細情報1

品名	アンチビット散8%
一般名称	
業者等名称	富士薬品工業株式会社
製造元	サザン ペドロケミカル インダストリーズ社(インド共和国)
承認日	平成08年11月12日
承認区分	製造(輸入)医薬品
有効成分	1 スルファメキサゾール 10g/150g
	2 トリメプリム 2g/150g
	3
	4
	5
	6
対象動物	豚
剤型	粒・散剤(準散剤・顆粒剤を含む)
規制区分	指定医薬品
効能効果	豚:大腸菌による細菌性下痢症・ヘモフィルス感染症
用法用量	大腸菌による細菌性下痢症 通常、飼料1t当たり本剤を2.5~5kgの割合に均一に混合して、5日間経口投与する。
	ヘモフィルス感染症 通常、飼料1t当たり本剤を1~2.5kgの割合に均一に混合して、7日間経口投与する。
休薬期間	本剤投与後、7日間は食用に供する目的で出荷等をおこなわないこと。
有効期間	
貯蔵方法	
包装単位	1~20kg, 0.2~20kg(分包品も製する。)
備考	

[Home](#)

検査データ整理票

検査所名 : 神奈川県食肉衛生検査所
 生産者No. : |
 データ収集期間 : 平成12年11月1日 ~ 平成12年11月30日(出荷日数14日)
 データ収集頭数 : 1044

飼養管理状況

1 マイコプラズマ用ワクチン

使用 無

有 ワクチン名 (レスピシユア)

用法用量 4 週齢 2 ml

7 週齢 2 ml

 週齢 ml

2 寄生虫性肝炎

薬品の使用 無

有 薬品名 (ヒペラジン)

用法用量 肥育舎移動時(63日令)
1回馬田虫

3 その他 (経口及び飼料に添加して用いる抗生物質製剤等)

使用 無

有 抗生物質製剤等名 (OTC, 63日令まで)

用法用量 飲水添加 飼料添加 その他 ()

〈結果〉

データ収集頭数 : 1044頭

データ収集頭数 : 1044頭

MPS肺炎

寄生虫性肝炎

罹患程度(点)	頭(%)
0	105 (10.0)
1	581 (55.7)
2	225 (21.6)
3	133 (12.7)

陽性頭数(%)	146 (14.0)
---------	------------

指数 < 1.4 >

別紙2

と畜検査データのフィードバックに関するアンケート調査について

生産者名 曾我の屋農興(株)
住 所 栃木県那須郡那須町大字豊原乙字沼尻1-1836
電話番号 0287-72-6101

① 食肉衛生検査所が検査データを生産者のみなさんにお返ししていることをご存知ですか？

はい いいえ

② あなたは検査データの提供を希望しますか？

はい いいえ

③ 検査データを利用し、疾病対策に取り組む意思はありますか？

はい いいえ

④ 提供してほしい情報についておしえてください。(複数回答可)

肺炎の状況(罹患程度を含む) 肺炎の有無だけでよい
 寄生虫性肝炎の状況 肺炎の程度も知りたい
 その他(意見:他のと畜場の平均値があるとよい。)

⑤ ①で「はい」とお答えになった方に伺います。現在提供されているデータの様式はこれでよいと思いますか？

はい いいえ()

⑥ 過去に検査データを活用したご経験のある生産者のかたに伺います。どのような対策、改善をしましたか。(複数回答可)

えさを変えた ワクチンを変えた 治療薬を変えた
 施設を改善した()
 その他()

ご協力ありがとうございました。

検査データ整理票

検査所名 : 神奈川県食肉衛生検査所
 生産者No : 2
 データ収集期間 : 平成12年11月1日 ~ 平成12年11月30日 (出荷日数8日)
 データ収集頭数 : 465

飼養管理状況

1 マイコプラズマ用ワクチン

使用 無

有 ワクチン名 (ハイオレス7°) (H12.10月分)

用法用量 1 週齢 2 ml
3 週齢 2 ml
 週齢 ml

2 寄生虫性肝炎

薬品の使用 無

他対策として 有
 木コ床の脱酵

薬品名 ()
 用法用量 離乳時アボキック 0.03ml/kg 皮下注
 Xイボレ10 子豚期飼料に0.1%
 7-7日間欠

3 その他 (経口及び飼料に添加して用いる抗生物質製剤等)

使用 無

有 抗生物質製剤等名 (キアムリン)

用法用量 飲水添加 飼料添加 その他

子豚期飼料に Xイボレ10PS 0.05% ()
キアムリン 50ppm) 7-7日間欠

(結果)

データ収集頭数 : 465頭

データ収集頭数 : 465頭

NPS肺炎

寄生虫性肝炎

罹患程度(点)	頭(%)
0	41 (8.8)
1	266 (57.2)
2	117 (25.2)
3	41 (8.8)

陽性頭数(%)	430 (92.5)
---------	------------

指数(1.3)

別紙2

と畜検査データのフィードバックに関するアンケート調査について

生産者名 佐藤畜産 (佐藤一四男)
住 所 福島県西白河郡中島村滑津字三ツ山24
電話番号 0248-52-2403 (検査に関する連絡はグローバルビバークファーム(株) 農場コンサル事業部 稲吉(0279-52-2906)までお願い (印))

① 食肉衛生検査所が検査データを生産者のみなさんにお返ししていることをご存知ですか？

はい いいえ

② あなたは検査データの提供を希望しますか？

はい いいえ

③ 検査データを利用し、疾病対策に取り組む意思はありますか？

はい いいえ

④ 提供してほしい情報についておしえてください。(複数回答可)

肺炎の状況(罹患程度を含む) 肺炎の有無だけでよい
 寄生虫性肝炎の状況 肺炎の程度も知りたい
 その他()

⑤ ①で「はい」とお答えになった方に伺います。現在提供されているデータの様式はこれでよいと思いますか？

はい いいえ()

⑥ 過去に検査データを活用したご経験のある生産者のかたに伺います。どのような対策、改善をしましたか。(複数回答可)

えさを変えた ワクチンを変えた 治療薬を変えた
 施設を改善した()
 その他()

ご協力ありがとうございました。



井寄牧場
生体所見
なし

剖検所見【頭数は疾病名の後に（）内に計上】

	疾病名	肉眼所見	廃棄部位
循環器			
呼吸器		吸入肺(4)	肺
消化器	肝炎(1)	小腸炎(5) 小腸出血斑(1) 肝窩脈班(1) 肝膿瘍(4)	小腸 肝臓
泌尿器			
生殖器			
運動器		挫傷：腰部(1) 関節炎：飛節(1)	筋肉
その他		脂肪壊死：腸間膜(1) 横隔膜膿瘍(2)	小腸 横隔膜筋

コメント

特になし

精密検査等

実施せず

検査データ整理票 (牛)

検査所名 :	食肉衛生検査センター
生産者名 :	井野牧場
データ収集期間 :	7月1日 ~ 9月11日
データ収集頭数 :	47頭

1 予防薬の使用状況

使用年月日	予防の内容	予防薬剤名等

2 治療等の状況

使用年月日	治療の内容	治療薬剤名等

3 その他

①飼育時特記事項

②と畜検査で特に知りたい内容

生体所見

--

剖検所見<頭数は疾病名の後に()内に計上>

	疾病名	肉眼所見	廃棄部位
循環器			
呼吸器			
消化器			
泌尿器			
生殖器			
運動器			
その他			

コメント

--

精密検査等

--